

報道関係各位

平成17年9月16日
(財) 2005年日本国際博覧会協会
地球市民村事務局

満月の宵に民族楽器の調べをお楽しみいただく毎月恒例コンサート
いよいよ最終回！

アイヌ文化に伝わるトンコリの奏者 OKI 率いる「OKI Dub Ainu Band」が贈る
9月フルムーンコンサート「しおのみち」のご案内

日時: 2005年9月18日(日)17:30~19:30 / 大地の広場

博覧会協会企画事業遊びと参加ゾーン「地球市民村」では、9月18日(日)17:30より、大地の広場にて、フルムーンコンサート「しおのみち」を下記の通り開催します。

フルムーンコンサート「しおのみち」は、満月の宵にゲストを招いて行われる毎月恒例のコンサートです。

最終開催となる今回は、カラフト・アイヌの弦楽器“トンコリ”の奏者であるOKI率いる「OKI Dub Ainu Band」を迎え、アイヌ伝統音楽を基調にダブやレゲエなど、さまざまな音楽を織り込んだ、混ぜこぜの詠唱と魅惑のリズムをお楽しみいただきます。

つきましては、是非ご取材賜りたくご案内申し上げます。

記

日時：2005年9月18日(日) 17:30~19:30

会場：愛・地球博 長久手会場 遊びと参加ゾーン「地球市民村」大地の広場

内容：満月の宵に、ゲストを招いて行う毎月恒例のコンサート。

今回は、カラフト・アイヌの弦楽器“トンコリ”奏者であるOKIが、「OKI Dub Ainu Band」としてアイヌの伝統音楽を基調に、ジャマイカの音楽スタイル1つであるダブやレゲエなど、さまざまな音楽を織り込んだ、混ぜこぜの詠唱と魅惑のリズムを展開。フルムーンコンサート「しおのみち」のラストを飾る。

以上

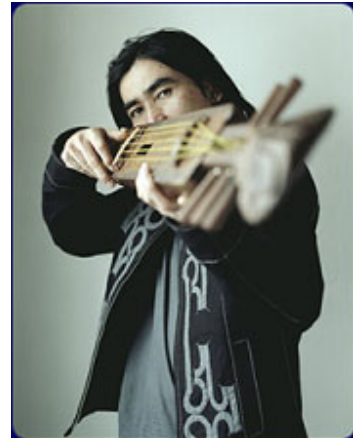
<参考資料>

ゲストプロフィール

■OKI (オキ) /ミュージシャン (トンコリ奏者)、プロデューサー

アイヌの血を引く、カラフト・アイヌの弦楽器「トンコリ」の奏者。アイヌ伝統音楽を基調に、ダブやレゲエなど世界のルーツ音楽のダイナミズムを織り込んだ斬新なサウンド作りで独自の音楽スタイルを切り拓き、知られざるアイヌ音楽の魅力を国内外に知らしめている稀有なミュージシャン/プロデューサー。

昨年は自曲と、2004年夏に惜しくもなくなったアイヌ文化伝承者で歌手の安東ウメ子の作品をダブ・リミックスした『ダブアイヌ』を発表。2005年5月リリースの新作『トンコリ』はタイトル通り、原点であるそのトンコリと向き合い、トンコリだけで作り上げられたアルバム。



海外での注目も熱い。「OKI & the Far East Band」「OKI Dub Ainu Band」など多様な表現形態で、ドイツ、台湾、米国をはじめ、昨年はオーストラリア・WOMAD (世界最大級のワールドミュージック・フェスティバル) で公演。2005年はシンガポール、イギリス・WOMAD、アイルランド (with KILA) でも公演が決定している。

“トンコリ”について

アイヌの撥弦楽器。標準的な大きさは全長 120 センチメートル、幅 10 センチメートル、厚さ 5 センチメートル程度。木をくりぬき、響板を張りつけて胴をつくり、五弦を張ったもの。奏法は肩に立てかけるか、抱きかかえるようにして両手の指ではじく。北海道北部では「カー (弦の意)」と呼ばれる。